

# 建設副産物巡回回収システムの構築による 建材サーキュラーエコノミーの実現

---

第13回プラチナ大賞 最終審査発表会  
2025年11月5日

大成建設株式会社 サステナビリティ経営推進本部 長谷川 洋介

日本通運株式会社 資源循環営業部

筒井 将平

# (背景1-1) 建設系混合廃棄（不燃系）の現状



混合廃棄物

- ・混合廃棄物の選別は困難
- ・マテリアルリサイクルの阻害要因
- ・再資源化率は約60%程度



不燃系建材

不燃系建材端材も  
埋立処理が多い

石膏ボード、断熱材、カーペットなど



埋立処分場ひっ迫

# (背景1-2) 建設系混合廃棄（不燃系）のリサイクル課題

## 広域認定制度

（メーカーが自社でリサイクルする制度）

処分費用にメリット ○

メーカー指定運搬会社制 ×

## 再資源化可能品

分別しても少量の場合は  
運搬が**非効率**  
(高コスト、CO<sub>2</sub>増)



限られた車両のみ



運搬効率化が必要

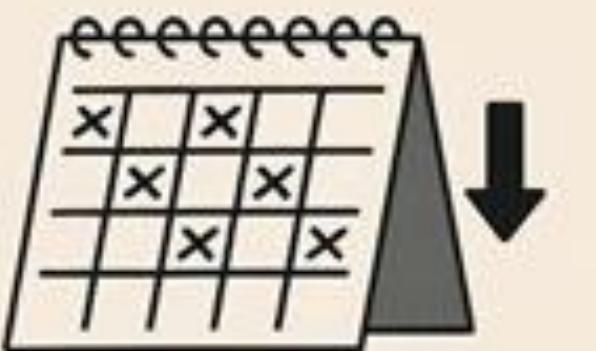
## (背景2) 物流業界における現状と課題



長時間労働



輸送能力不足



残業規制



ドライバー不足

輸送力不足

物流停滞

人手不足

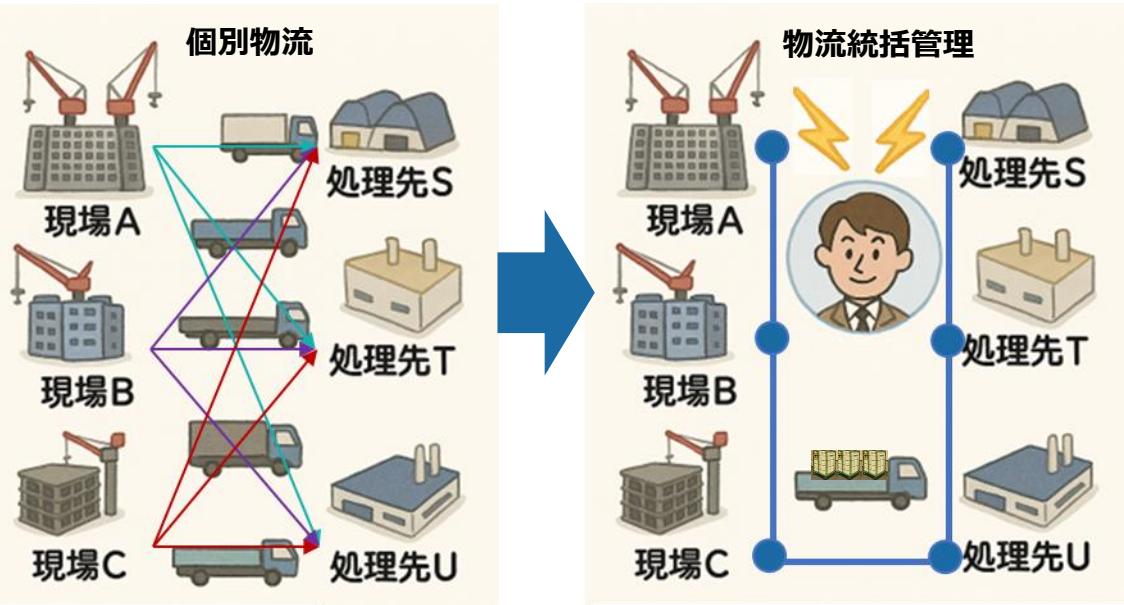
物流コスト増

効率化や共同配送

## 物流2024年問題

# (課題解決への取組) 効率化×共通化×生産性向上×動静脈連携

## ①個別物流（手配）から物流統括管理で効率化



## ②共通の運搬会社を指定

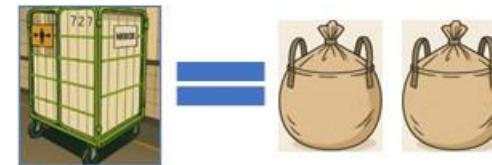
メーカー-1	メーカー-2	メーカー-3	メーカー-4
運搬会社A	運搬会社D	運搬会社G	運搬会社M
運搬会社B	運搬会社E	運搬会社H	運搬会社L
運搬会社C	運搬会社F	運搬会社J	運搬会社K
運搬会社X	運搬会社X	運搬会社X	運搬会社X

1台で  
複数の現場と  
メーカーの  
回収が実現

## ③NRBOX「エヌエックス・リサイクルボックス」を導入



統一専用容器を導入  
生産性up (車輪付き移動易)  
積載率up (フレコン重量比2倍)

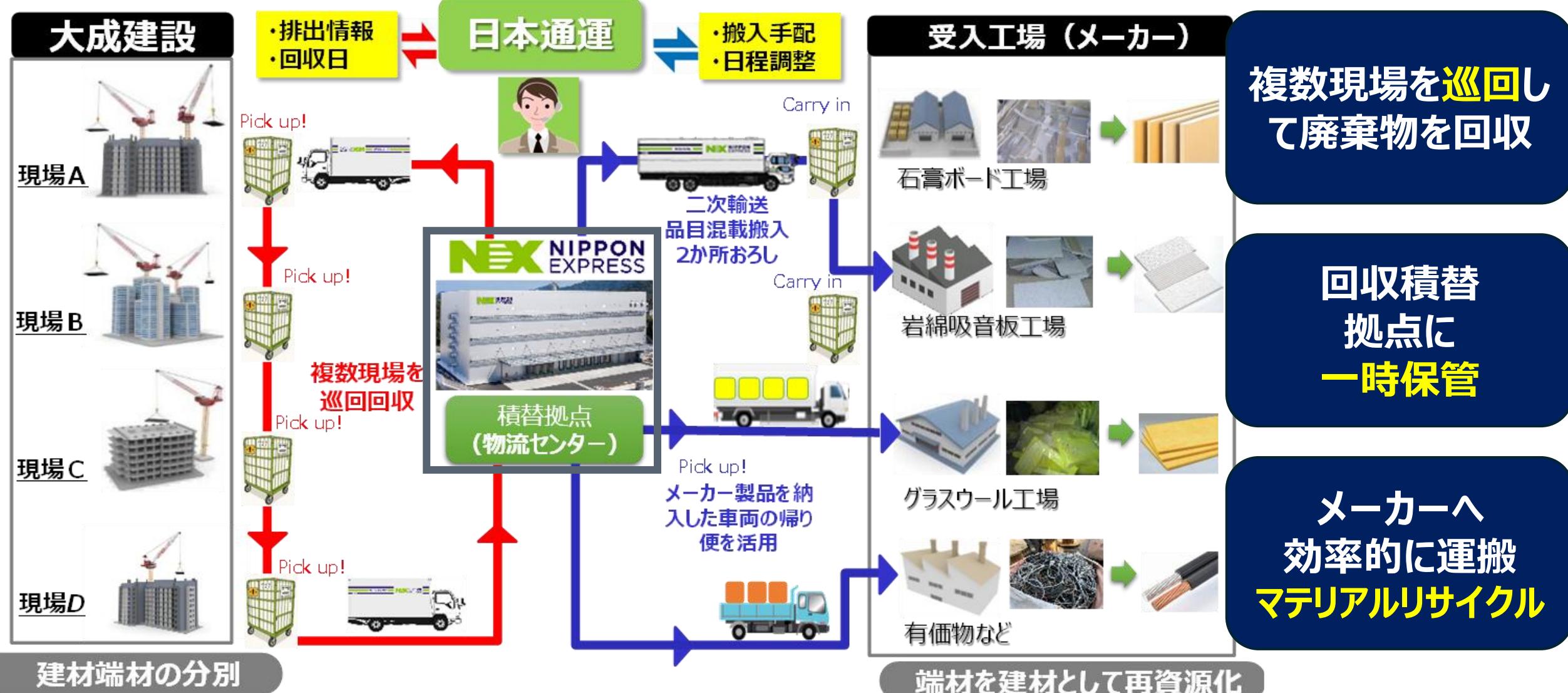


## ④製品を納品した車両の帰り便を活用



動脈物流 (製品輸送)  
×  
静脈物流 (廃材回収)  
空車回送、待機時間を削減

# (課題解決) 建設副産物巡回回収システムを構築

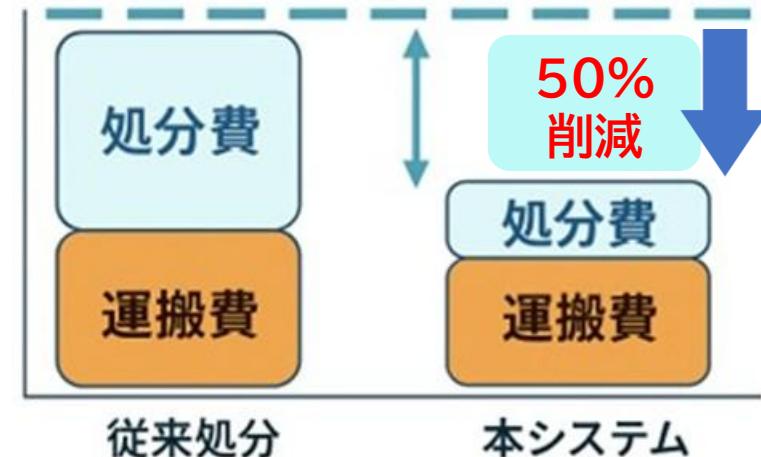


# (持続可能性) リサイクル&脱炭素促進&経済的

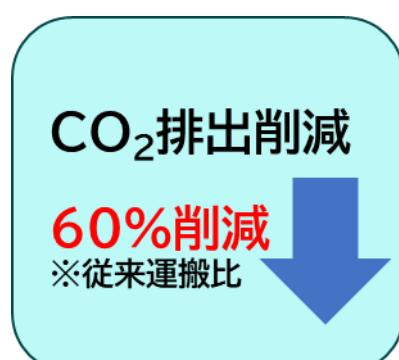
①建設現場：分別が促進され混合廃棄物削減／水平リサイクル促進



②従来方法と比べコスト削減



③環境配慮型トラック導入／積替拠点を活用した効率化：CO<sub>2</sub>排出量削減



排出事業者×運送事業者×製造事業者にメリットがある仕組みを構築

# (協働の効果) 同業他社への展開と産官連携

①【業界標準化へ】  
大手ゼネコン含む  
**7社**以上で導入準備  
**2社**は導入済

③【官民連携・**山梨県庁殿**】  
令和6年度産業廃棄物排出  
抑制・再生利用セミナー内  
にて講演

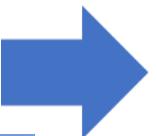
②【水平リサイクル意識向上】  
検討建材メーカー**2社**以上

④【他業種連携】  
問合せ  
情報交換会

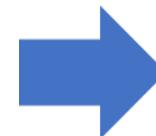
# (事例紹介) 地域特化型スキーム構築 (各地の資源循環を促進)

具体事例：建設中の岡山新市庁舎／10km圏で現場→メーカー2社を共同回収→直送

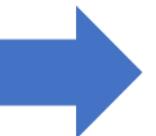
建設中の岡山新市庁舎



現場にて  
回収



①岩綿吸音板  
メーカー



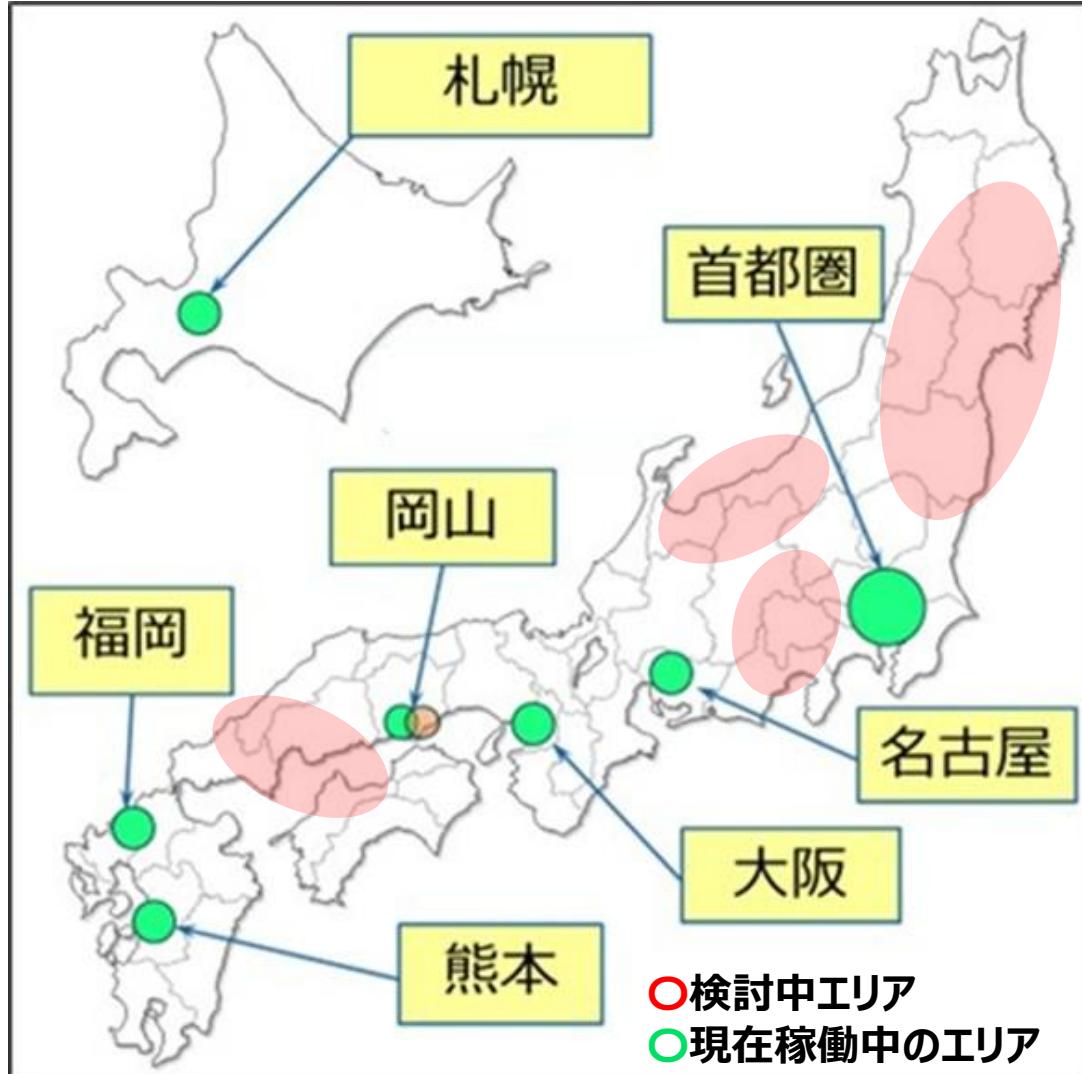
②石膏ボード  
メーカー



現場出発から約2時間で搬入完了

# (展開可能性) 次のステップに向けた取組

## 稼働エリアの拡大を検討



## モーダルシフト化さらなる脱炭素 長距離、離島地域への導入を検討



鉄道



船舶



トライアル運搬を実施中

静脈物流を起点とした動脈物流をつなぐモデル

社会全体のサーキュラーエコノミーの実現を推進





地図に残る仕事。®

ご清聴ありがとうございました

